

作成日	2023. 4. 17	作成目的	省内周知用
作成担当	大臣官房秘書課	機密性	2
保存期間(〇年)	1年未満	備考	

取扱注意

環境省役人用語集

令和5年4月

あ行

【RS[アールエス]】

行政文書ファイルの作成・取得時に当該ファイルの「保存期間満了時の措置」（国立公文書館に移管するか、それとも廃棄するか）を定めておくこと。作成・取得時に速やかに定めることとされており、実際に移管又は廃棄をする前には内閣府の審査が必要。「レコードスケジュール (Record Schedule)」の略。

【合議 [あいぎ]】

省内外の関係部局と案件の調整を行うこと。国会答弁を自分で手を動かして書く人が「主作成」で、それを見せてもらって意見だし（「合議」）する場合は典型。ちなみに「あいぎ」では一発変換ができず、「ごうぎ」と入力する。

【青エレベーター [あおえれべーたー]】

朝や昼になるとエレベーターのホールに人を溢れさせるエレベーター。なかなか来なくせに、来るときは連続して4、5台来る。赤エレベーター、黄エレベーターでは上下する距離がそれほどないからかそういう問題は起こっていないようで、青エレベーター使用者の苦しみは分からない。ただし、2019年から、9:00~9:30は停止階を奇数階と偶数階に分けて運行する取組が始まり、朝の混雑は相当程度改善された。

【青天井 [あおてんじょう]】

何かを要求する際、その要求枠（上限）を定められていない状態。天井がないため、上を見れば「青空が見える」との意味から「青天井」という。

【開く [あく]】

国会において、議員の質問が他省庁へされたり、答弁作成がされたりして、その議員への対応が終了すること。バッター全員が対応不要となると、その委員会が開く、と表現したりする。

【アクションプラン】

立案した計画を実行に移すために、どういったことをすべきかさらに詳細を定めた計画。

【上げる [あげる]】

クリアを取るために上司に案件を説明すること。

【頭出し、芽出し[あたまだし、めだし】

資料や関係者の頭に残るように、とりあえず案件として登録しておくこと。

【ADAMS[あだむす】

各府省の予算の執行から決算の過程における会計事務を、電子情報処理組織を使用して処理するシステムのこと。正式名称は、官庁会計システム。

【後出し[あとだし】

協議などの際に、意見等の×切を過ぎてから提出すること。こちらが意見等を受けられる場合は「後出しだからもう受け取れません。」と突っぱねることもある。反対にこちらが、意見等を提出する場合は当然×切に間に合うよう努力するが、そもそも期限が極端に短いこともあるので、そういうときには延長交渉をするか、あるいは「こんな期限の設定では到底対応できませんから、×切過ぎても後出しなんて言わないで下さいね。」と言うこともある。

【あらまし】

正式には「法令のあらまし」。官報に法律、政令が掲載されるときには、冒頭に概要もあわせて掲載される。その概要のこと。通常は、「～するものとする」となっている要綱の語尾を「～することとした」に修正し、全体の分量を削って作成する。

【案とれ(あんとれ)】

上司の許可がまだ下りておらず、(案)となっていた文書がクリアが取れて「案が取れる」を略して「案とれ」と言う。

【EBPM(いーびーピーえむ)】

証拠に基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making)のこと。エピソード・ベースの政策立案にならないよう、ロジックモデルを使いながら事業ロジックを整理・見直し、そのロジックを各種エビデンスで強くしていく。PBEM(Policy-Based Evidence Making)にならないように注意。

【委員会[いいんかい】

日本の予算や法律はすべて国会の議決によって成立するが、全ての法案を本会議で十分に審議することは事実上困難である。そのため、法案は国会に提出されると、いずれかの委員会に付託され、委員会の中で質問や答弁など実質的な議論が行われることになる。委員会で採決されると、本会議でその旨報告され、採決されて、議院としての最終決定になる。

現在は衆議院・参議院それぞれに環境委員会があり、環境省提出法案は、環境委員会に付託される。

【機密性 2】

【委員部 [いいんぶ]】

衆議院・参議院の事務局の一つ。各委員会を担当する3～4名程度のチームがあり、委員長、理事が進める委員会運営をサポートすることを業務とする。

【イキ (モトイキ)】

いったんボツにした書類、いったん見え消しで消した部分について、原案どおりで使用すること。用例：「じゃあ、そこんところはイキで。」

【いけいけどんどん】

勢いよく攻めの姿勢で仕事を進めていく様。根拠のない「いけいけどんどん」は困るが、これくらいの積極性は欲しい。もちろん、戦略的に静かにしていることもある。

【いずれにせよ】

前ふりの言葉、説明をなきものにする便利な言葉。結論は一言だけなのに、それだけだと寂しい場合に、色々と説明をしておいて、結論の段落で用いる。

用例：「いずれにせよ、現段階では情報収集に努めているところであり、関係省庁と連携しつつ、必要な対応をとってまいりたい。」

【一枚紙 [いちまいがみ]】

概要を一枚にまとめた資料のこと。根回しなど、簡潔な説明が求められる際によく使用される。自治体などでは「ワンペーパー」ということもあるが、それと同じ。

【院内 [いんない]】

国会議事堂本館内のことを指す。

【WEBEX [うえぶいーえっくす]】

WEB会議を実施できるサービスのこと。自宅や出張中でも打合せが可能。

【打ち返す [うちかえす]】

依頼された作業に対して、回答すること。作業を依頼する意の「投げる」に対して使われることが多い。

【打ち込み [うちこみ]】

具体的な内容を入れ込むこと。